

あたま 市議会だより

第65号

令和8年
(2026)
2月10日

P2~7

令和7年11月定例会

質疑および一般質問（要旨）

P8

議会のはてな・賛否が分かれた議案

P9

令和7年11月定例会 議決結果

P10

討論・委員長報告

P11

委員会行政調査報告

P12

議会からの報告お知らせ

令和8年2月定例会の主な日程

令和7年11月定例会について

11月定例会は、11月27日から12月17日まで21日間の会期で開催し、議案15件、報告2件、発議案1件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：ユリカモメ

熱海市の鳥であるカモメの一種、秋になると極東ロシア沿海州やカムチャツカから越冬のため熱海海岸へ渡来する。

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1 TEL 0557-86-6644 FAX 0557-82-7287

Email gikai@city.atami.lg.jp



熱海市議会HP

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

※ユニバーサルツーリズムについて



せんみょうじ 泉明寺みずほ 議員

自民党・女性の会
熱海梁山泊
◆所属委員会◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■伊豆山土石流災害における復旧・復興 ■※ミックスペーパーの全市回収

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



※ユニバーサルツーリズムについて

質問 市は県水の利用をやめ自己水源だけで賄つと決めた。今後は、情報公開を積極的にし、多くの説明時間を費やす必要がある。料金値上げ時に市民が困惑しないよう特別委員会を設置し、事の重大さを市民と共有できる場と、専門的に検討する部署を作らないか。

答弁 三島市・函南町の意向や県水に係る費用等詳細が示せる状況になったら皆様に伝え、必要に応じ検討する場を設ける。

質問 市民に供給さ

れる水は一律の料金である。それがなぜ県水の問題となると給水単価が市町で変わるのか。人口が減少する一方で料金が増え続ければ未納料金が増える懸念もある。2市1町、同じ土俵で料金を考えるべきと思うが。

答弁 水源から受水地までの距離や水量により料金が割高になる。

質問 市としてユニバーサルツーリズムをどのよう

に位置付け、観光施策として取り組むのか。

答弁 今後益々重要

なテーマと考える。具体的な施策やターゲット層に基づく戦略を進める。特に情報アクセシビリティ向上やバリアフリー施設の整備に取り組んでいく。

質問 現在、市が配布する案内冊子は主にスイーツマップである。今後は歴史や文化、文人墨客の足跡等を体系的にまとめ、多言語で作成した公式ガイド冊子の整備を検討しな

いか。

答弁 観光局と連携し、検討を進める。

訪問介護が抱える問題について
学校給食費無償化について



たかいかずゆき 高井一幸 議員

日本共産党
◆所属委員会◆
総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

■下水道事業の管理運営への民間企業参入問題 ■自主防災会支援

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 全国各地で訪問介護の事業所倒産が相次ぎ、厳しい経営に。市内事業所の実態を訪ねて聞いて廻ったところ、その姿は「従事者募集しても応募がない。事業の将来展望が見えない。事業縮小を考えている。」等々であった。原因は国によるヘルパーの基本報酬力ツトで、「時給が低いヘルパーのなり手がいない。」である。市は報酬引き上げを国に求めたか。

答弁 市のアンケートでもヘルパーは不足であり、理由は「仕事があつた。賃金が安い。」などであった。訪問介護サービスは実態に即した抜本的な見直しなど必要な措置を要請している。

質問 学校給食費無償化については、無償化を求める市民の声に押されて議会で再三にわたり質問が繰り返されてきたが、少子化対策としてお隣の伊東市ではできた無償化が、本市ではできていない理由は何か。

答弁 学校給食費無償化は家庭の経済的負担の軽減にはつながるが、それが直接的に少子化対策になるとは考えにくい。本市は今年度から0歳児からの全ての保育料の無償化と、在宅育児応援金は県内各市でも本市のみが行っている。

意見 全く質問していない保育料などを取り上げて質問の主旨を逸らすなど、形而上学的で木で鼻をくくするような答弁はいただけ

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



ごとう ゆういち
後藤雄一 議員

公明熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■伊豆山土石流災害における
災害公営住宅建設計画

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



終活支援事業あんしんについて 消防と医療機関とのコミュニケーションについて

質問 終活支援事業あんしんについては、事業開始から6年が経過し事業内容などを見直す時期と思われるが、事業内容について改善を検討しているか。

答弁 現在の事業は対象の方と協力葬儀社が生前の契約により、亡くなられた後、火葬から納骨までのごく限られた範囲の支援に特化した事業である。課題認識や先行事例を踏まえ、事業のあり方を見直すべき時期に来ていると認識しており、支援メニューの充実と

終活事業の担い手として、協力葬儀社はもとより、地域福祉の担い手でもある社会福祉法人を終活支援事業者として参画させるなど体制の再構築に向け検討したい。

質問 救急搬送時において、救急隊員と救急患者を受け入れる医療機関が阿吽の呼吸で対応できることが望ましいと考えるがコミュニケーションはどのようになっているのか。

答弁 医療機関との連携維持や救急医療に対応する知識と技術の

習熟などを目的に、運用救急救命士には2年間で48時間以上の病院実習が定められている。このため、市内の二次医療機関で病院実習を実施している。この実習をはじめ、医療機関で開催される研修会や勉強会に参加することで医師、看護師などの病院関係者とのコミュニケーションを図っている。

観光A1システム・リクルートとの※コンソーシアムについて

人口減少や消滅可能性自治体に分類されたことを踏まえた対策について

質問 観光A1システム導入によりどのような効果が期待されるのか。

答弁 AIシステム導入により、データ収集から分析、施策実施までの一連の流れを効率化し、競合エリアとの差別化を図るためのプロモーション素材や方法の提案が可能となる。観光事業者や市民に対して迅速かつ効果的なデータ活用仕組みを提供し、本市の観光振興に貢献することを目指して取り組む。

質問 消滅可能性自治体への指定を受けているが、他都市では、事業ごとの成果を検証して政策の重点化を行っている例もあるが本市の見解は。

答弁 前提となる仕事や雇用の機会の創出の次に子育て支援策や住宅政策の強化など、子育て世代や働く

世代が安心して暮らせる環境づくりは、どれも重要であり、総合的なアプローチが必要と考える。

意見 市長は全庁連携を進めるというが全国の消滅可能性都市が直面している課題は、まさに分野横断の調整コストと意思決定の遅さであり市長直轄のミッション型組織が求められる。人口が減り続ける中でもっとも重要だからと言って結果的に何も重点化されないこと。そして最も危険なこととは判断の先送り。本市は観光の光の裏で人口構造という静かだが確実な危機が進行している。私は市長と市役所の皆さんに従来の延長線上にとどまらない新たな発想による人口政策を総動員し取り組むことを強く求める。



はしもと かずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■伊豆山復興事業の進捗状況
■熱海市消費生活センター

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





いなむらちひろ 議員
稲村千尋

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■熱海が住みよいまちと評価
いただけるために何を成し遂
げるべきか

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



海外からの誘客について
宿泊税等の税の使い道について

質問 来年度、宿泊税と入湯税は合計11億5千万円の収入を見込む。しかし、これらの税は誘客のための環境整備の使用が主目的で、市民生活向上の政策財源として市は考えていない。ただし観光関連企業の法人税やホテル建設の固定資産税の増収分は、市民生活の財源に回せる。梅園やジヤカランダ遊歩道、糸川の桜並木、海釣り施設等は誘客に大変貢献している。その経費を宿泊税で負担すれば、浮いた経費は市民生活

の向上に回せないか。
答弁 観光誘客に資する整備は、宿泊税の活用は可能と考える。
要望 税の増収分は、子育て、教育、高齢者の福祉向上に予算配分を。

うな使い道をされるのか。
答弁 今年度、総額約6,400万円を計上。台湾やタイへのインバウンドプロモーション経費や情報発信機能の強化。また受入環境整備経費に約2千万円、そのうち1千万円は観光庁からのAI調査事業がある。
要望 ターゲット市場は中国以外の親日国の東南アジア諸国が重要である。

太陽光パネルの不法投棄対策について
野生動物の管理について



むろふしゆうぞう 議員
室伏友三

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)

公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

■今後の総合的な野生動物管理への対応

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質問 今後、耐用年数を迎える太陽光発電パネル設備の増加に伴い、その廃棄に関する本市の現状認識と不法投棄への対策について伺う。
答弁 現時点で市内における太陽光発電パネルの不法投棄は確認されていない。静岡県や函南町と広域的なパトロールを行うなど対策を講じている。

質問 現地確認の結果とそれに対する具体的な対策は何か。
答弁 戸締りがされておらず、サルが自宅に侵入したとのことであった。戸締り・施錠の徹底や、誘引物となるゴミを含む食べ物の管理徹底などの対策は有効であり、引き続き広報あたまやホームページを通じて啓発活動を進める。
要望 ①箱ワナ慣れした有害獣対策として、廃止されていくくりに復活をお願いしたい。②市独自の野生動物環境影響評価調査の実施の具現化をお願いしたい。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



かなもり かずみち
金森和道 議員

明日の熱海
◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■空家等の対策 ■物価高騰に
対する本市の対策

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



スポーツ競技等で活躍しているアスリートへの支援について マイナ保険証の現状について

質問 スポーツ競技において本市の在住者や出身者が、県内や全国、さらには世界大会で活躍している。そのような選手の経済的な負担を考慮し、交通費や滞在費、必要となる用具などの新調やメンテナンスにかかる経費の割合に応じた、交付や奨励金の増額はできないか。

答弁 大会出場が報道・広報されることにより、同じ競技に励む子どもたちへの好影響を考えると、見直しを検討していくことは必要と考える。いただいた具体的な提案も含め、今後検討していく。

質問 マイナ保険証において、高齢化率の高い本市では、受診の都度の煩わしさが難儀となつていないようである。現在の登録・利用状況は。また資格確認書を持参しなかつた場合の対応は。

答弁 いわゆるマイナ保険証の令和7年8月末現在の登録・利用状況は、国民健康保険の登録者数が5,129人で登録率67・8%、利用件数が6,215

件で利用率67・9%、後期高齢者医療については登録者数7,353人で登録率72・9%、利用件数は7,924件で、利用率40・5%である。保険資格が確認できた場合には、有効期限切れの健康保険証を持参しても、令和8年3月末までを期限として保険診療が適用される。その旨の通知が厚生労働省から発出されており、現在これを受けて医療機関等の窓口において適用されている状況にある。

件で利用率67・9%、後期高齢者医療については登録者数7,353人で登録率72・9%、利用件数は7,924件で、利用率40・5%である。保険資格が確認できた場合には、有効期限切れの健康保険証を持参しても、令和8年3月末までを期限として保険診療が適用される。その旨の通知が厚生労働省から発出されており、現在これを受けて医療機関等の窓口において適用されている状況にある。

自治体ポイント事業について

質問 先の6月定例会において自治体ポイントを活用した健康診査受診率向上に向けた取組について、大阪府枚方市のポイント事業を例にし提言をしたが検討状況はいかがが。

答弁 介護予防などの観点から、対象範囲の検討とインセンティブの度合いや介護予防等に寄与するイベントなど機会の洗い出しを行っており、高齢者の方に親しみのある流通系のポイントを付与することを現在検討している。

質問 枚方市のポイント事業では獲得したポイントで公共交通のバスやタクシーで利用できるポイントやクーポンに交換できる。そうすると外出する際の交通費などの負担もあわせて軽減できるのでは。

答弁 日常的な買い物に利用できるのが間接的に他の費用を捻出できるものと思っている。

質問 現在、来年度の当初予算の編成作業が進められていると思うがこの事業の予算についても当初予算に計上される見込みなのか、計上するつもりがあるか、市長に伺う。

答弁 本事業の実施に向けて準備を進めており、関係経費の予算についても詳細を詰めているところである。現時点では、関係予算を2月定例会に計上する考えで作業を行っている。



おさむ 越村 議員

熱海成風会
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■まちづくり条例改正の必要性 ■※ミックスペー
収事業

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





たけべ たかし 議員
竹部 隆

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

その他の質問項目

■国の総合経済対策に対する本市の取組 ■イノシシ対策

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



窓口業務のDX推進について／令和7年度一般会計当初予算に係る主要施策の執行状況について

質問 窓口業務をスピーディーに行うために書かない窓口のDX化が図れないか。

答弁 窓口業務に時間がかかる原因のひとつには外国人転入者数の増加があり、窓口DXの基盤となるマイナンバーカードの保有率は77・4%だが、カードの更新やマイナ保険証の紐づけの申請が多くなり、窓口混雑の要因のひとつとなっている。これらの課題解決のため、人員の増員、端末の増設など対応し

ている。書かない窓口に関するシステム導入準備を進めるとともに、コンビニ交付サービス利用促進や、デジタル機器の導入等にも取り組んでいく。

質問 今年度一般会計当初予算に示した235億3,100万円の4項目の主たる事業の予算執行状況及び進捗状況について伺う。

答弁 伊豆山復興推進事業については11月末現在6,500万円を執行し、土地購入費や宅地復旧補助金等に

充てられている。(仮称)伊豆山地区コミュニティ防災センター、消防団第4分団詰所の執行額は合計4億6,000万円。約50%の進捗状況で令和7年度末までには完成し、令和8年度から供用開始を目指している。逢初川沿いの道路整備や事業用地の取得のため1億2,300万円を執行している。市営火葬場等も2億5,000万を余りかけ、来年度当初の供用開始を予定している。

全国各地で発生している大規模火災や林野火災の対応について
小山臨海公園・南熱海マリンホールの整備について

質問 大規模火災や林野火災への対応は。

答弁 住宅密集地域をはじめ、中高層建築物などの警防活動計画を策定、林野火災の消火訓練を実施、災害用ドローンを活用している。

質問 火災・災害の規模が大きくなるほど、消防団が必要であるが、消防団との連携強化は。

答弁 春と秋に消防本部、消防署と消防団との合同演習を実施、また湯河原町と伊東市の消防団とも訓練を行い、連携強化している。

質問 消防団員の出勤手当は日額2,500円、長時間出勤や団員確保の観点からも年額報酬や出勤手当の増額が必要と思うが。

答弁 出勤手当をはじめ、消防団員の任用資格の年齢条件などの見直しを進める。

質問 南熱海マリンホールの照明LED工事と冷暖房設備の導入予定、また工事を行う場合の休館期間。

答弁 LED化工事と冷暖房設備の導入を同時に施工することで単独で工事を行う場合に比べ、休館期間の短縮が可能である。照明のLED化工事は約5か月、冷暖房設備の工事は床の張替え等も同時に行う必要があるため、1年以上が必要である。

質問 同時施工できるように、工事スケジュールや設計の再検討は。

答弁 財政面の調整や工事スケジュールの再検討を行い、できるだけ短期間で実現を目指す。



かわぐち たけし 議員
川口 健

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目

■観光戦略費及び宿泊税金
■移住・定住政策と別荘等
■所有税

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



質 疑 一 般 質 問



やま だ かげ あ き
山田景照 議員

新政熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

その他の質問項目

- 乗合タクシーまめっこ号
- 学校小規模化による課題

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから



物価上昇に伴う積立基金の価値毀損について 市営駐車場料金見直しの検討状況について

質問 物価上昇が続く中、市の積立基金を預金としておくだけでは、実質的な価値が目減りする懸念が大きい。また、基金の20%を上限に国債で運用しているが、20%に根拠は無いとみる。運用に回す金額を合理的に説明するには何が必要か。

回答 物価上昇が続く公算は高く、納められた税金の価値保存の対策をすべきと思うが、可能か。

質問 然り。例えば昨年度決算で市庁舎建設基金10億円を積立したが、いつ使うかは未

回答 各基金の状況を確認できれば取扱いを変えることができる。まずは、現状を確認していく。

質問 市営駐車場の料金改定につき、検討

回答 市営駐車場の料金改定につき、検討

森林環境譲与税の子供たちに対する啓発や教育への用途について 観光・市民双方が恩恵を得られる宿泊税の用途について

質問 国から市に交付される森林環境譲与税は、子どもたちへの植林や伐採を通じた情操教育や郷土愛を育むような活動、林業普及に関する大人も交えた啓発活動等にも使えるのか。

回答 「林業や森林保全に対する理解促進」や「子どもたちへの植林・伐採等の体験学習」、「森を通じた情操教育や郷土愛醸成を図る活動」等は森林整備の促進という税の趣旨に合致し、用途として十分適切であるとの認識である。

質問 市民にとっても恩恵がある※MICEのような施設も企業・団体による平日およびビジネス利用の促進を謳う本市として適合性は高いと考えるが、使途の対象になり得るのか。

回答 ※MICEの誘致・開催は都市のブランド力向上や滞在時間の延伸、観光消費の拡大に寄与するものであり、宿泊税の目的に照らして対象となり得るものと想定している。

質問 市民にとっても恩恵がある※MICEのような施設も企業・団体による平日およびビジネス利用の促進を謳う本市として適合性は高いと考えるが、使途の対象になり得るのか。



にい の よう へ い
新野陽平 議員

明日の熱海

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目

- 熱海が舞台のコンテンツ産業への方針
- 消費生活センターの協力体制

11月定例会質疑・
一般質問の様子は
こちらから





質疑・一般質問の用語説明

各議員の質疑・一般質問記事の中で※____で表記されている言葉についての説明です。

P2 ユニバーサルツーリズム
高齢や障がい等の有無にかかわらず、全ての人が安心して気兼ねなく楽しめる旅行のこと。

P2 ミックスペーパー
ダンボール、新聞紙、雑誌(本)、古布以外のもので汚れていない紙類のこと。
例：紙箱・菓子箱・牛乳パック・トイレットペーパーの芯・封筒・はがき・包装紙など。

P3 コンソーシアム
共通の目的を持った複数の組織が協力するために結成する共同体のこと。

P7 MICE
Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive Travel(企業等の行う報奨・研修旅行)、Convention(国際機関・団体、学会等が行う国際会議)、Exhibition/Event(展示会・見本市、イベント)の頭文字を取った造語で、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称のこと。

結果

11月定例会 賛成・反対が分かれた議案等(本会議)

議員名・会派名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	稲村 千尋	川口 健	竹部 隆	越村 修	赤尾 光一	杉山 恭平	室伏 友三	後藤 雄一	新野 陽平	金森 和道	欠員	泉明寺みずほ	橋本 一実	山田 景照	高井 一幸	
議案番号	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	成風会	公明	明日熱	明日熱		梁山泊	市民ク	新政	共産	
議案第52号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○		○	○	○	×	可
議案第53号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○		○	○	○	×	可
議案第58号	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○		○	○	○	×	可

議長(5番 赤尾光一)は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 否=否決 認定=原案認定

採決結果 ○=賛成 ×=反対 退席=退 欠=欠席(早退・遅刻を含む) 除=除斥

会派名 成風会=熱海成風会 公明=公明熱海 明日熱=明日の熱海

梁山泊=自民党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク=熱海市民クラブ 新政=新政熱海 共産=日本共産党

11月定例会 議決結果(本会議)

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第51号 令和7年度熱海市一般会計補正予算(第4号)	可決(全員)	議案第60号 熱海市別荘等所有税条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第52号 令和7年度熱海市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(多数)	議案第61号 熱海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び熱海市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第53号 令和7年度熱海市初島漁業集落排水事業会計補正予算(第1号)	可決(多数)	議案第62号 熱海市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第54号 熱海市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決(全員)	議案第63号 熱海市風致地区条例の一部を改正する条例	可決(全員)
議案第55号 熱海市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	可決(全員)	議案第64号 財産の取得について(高機能消防指令システム車両動態管理装置)	可決(全員)
議案第56号 熱海市印鑑条例の一部を改正する条例	可決(全員)	議案第65号 指定管理者の指定について(熱海市初島高齢者健康増進施設)	可決(全員)
議案第57号 熱海市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員)	報告第17号 専決処分報告について(市有地内樹木のかしによる事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第58号 熱海市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決(多数)	報告第18号 専決処分報告について(交通事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について)	報告
議案第59号 熱海市基金条例の一部を改正する条例	可決(全員)		

〈議員提出の議案等〉

件名	議決結果
発議案第3号 弔意決議について	可決(全員)



議案第52号令和7年度熱海市下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第53号令和7年度熱海市初島漁業集落排水事業会計補正予算（第1号）

反 対 高井一幸 議員

議案第52号、議案第53号について、下水道事業の管理運営に民間企業を参入させる、いわゆるウォーターPPPの導入準備を進めるための経費等であり、事業スキームは更新実施型を想定しており、自治体保有の存続が求められる技術力の消滅の恐れが生まれる。また住民の財産であるインフラを、自治体が管理できなくなる危険が伴う準備など許されないものとする。以上のことなどから反対する。

委 員 長 報 告

●観光建設公営企業委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第51号 議案第52号 議案第53号 議案第63号	可決 (全会一致)	議案第51号令和7年度熱海市一般会計補正予算（第4号）のうち、第6款観光商工費について観光戦略費として、オーバーツーリズム対策の一環として熱海駅前等にライブカメラを設置し、渋滞状況を市民等にも常時把握できるようにするための経費等が追加補正されている。他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案等	審査結果	報告要旨
議案第51号 議案第54号 議案第55号 議案第56号 議案第57号 議案第59号 議案第60号 議案第61号 議案第62号 議案第64号 議案第65号	可決 (全会一致)	議案第55号熱海市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について、消費生活に関する相談件数の増加に鑑み、消費生活相談に係る体制の充実を図るため、消費生活センターを設置することとしたことから、本条例を制定しようとするものである。他の付託議案とともに必要な措置と認める。
議案第58号	可決 (賛成多数)	必要な措置と認める。



各委員会行政調査報告

各委員会が実施した先進地への行政調査について報告いたします。

観光建設公営企業委員会

調査日程 令和7年10月21日～23日

調査先及び調査内容

〈大分県別府市〉「ライドシェア導入背景と概要について」

別府市のコロナ禍回復後の公共交通状況は、バスの減便や廃止、タクシー台数の減少などにより稼働台数が回復していない状況であった。このため無料ナイトバスの運行、日本版ライドシェアの導入、湯けむりライドシェアGLOBALの実証運行開始など多くの公共交通施策が講じられた。また、ライドシェア導入にあたっては市長自らがタクシー協会や九州運輸局への説明などを行い、提案から実施まで迅速に対応した。このようなことから公共交通の不足を補うため、ライドシェアの導入を含むさまざまな対策を進めており、地域住民のみならず観光需要の増加にも対応することを目指している。本市も公共交通状況においては、運転手不足など同様の課題を抱えており、今後の観光推進の参考としたい。

〈福岡県福岡市〉「宿泊税の使途及び活用事例について」

福岡市は、令和2年4月1日から宿泊税を導入し、この税収は主に観光関連の施策に使われ、観光業の発展と市民生活の向上を両立させることを目的としている。観光業の振興に関する施策はもとより、市民生活の向上のため、公共交通機関のバリアフリー化、エレベーター・エスカレーターの増設など、地元住民にも便利となる交通インフラの整備に使用されている。宿泊税を活用した事業の評価は、宿泊事業者を対象に実施したアンケートを通じて収集しており、評価の高い施策についてはさらに強化している。また、年度ごとに宿泊税の活用事例を掲載した事業報告書を作成し、収入や決算などの情報を公開している。事業内容については、写真を交え分かりやすく掲載しており、その内容はホームページでも広く公開している。今後、本市においても観光と市民生活の双方に資する宿泊税の使途を参考にしたい。



福岡市にて

総務福祉教育委員会

調査日程 令和7年10月22日～24日

調査先及び調査内容

〈大阪府四條畷市〉「行政DX（書かない窓口）導入背景と概要について」

四條畷市は、持続可能な行政運営を目指し行政DXを積極的に推進しており、多様なデジタル技術を活用し、業務の効率化と市民サービスの向上を図っている。令和6年度には全国で約8年ぶりとなる電子投票を導入したほか、市民と直接関わる窓口業務の効率化を図るため「書かない窓口」を導入しており、来庁者の本人確認や聞き取った内容は、職員とともにタブレットを通してシステムに入力し、申請書を自動作成する仕組みで運用している。書かない窓口の導入により、データ等の連携・活用・取得、職員の確認・補記の軽減、申請書類のデータ化などのメリットがある一方、窓口職員の人員体制が依然として逼迫していることや、申請書は印刷しており、直接的な紙削減等には至っていないなどのデメリットも挙げられる。行政のDX化は今後さらに進んでいくことが予想されることから、本市においても非常に参考となる先進事例であった。

〈兵庫県高砂市〉「広域ごみ処理事業の検討経緯と運営状況について」

高砂市は、近隣2市2町（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町）と広域によるごみ処理事業を実施している。高砂市が事業主体となり各市町から事務を受託する運営事業とし、建設費や維持管理費の分担、処理能力の集約を実現した。ごみ処理施設「東播磨海広域クリーンセンター（愛称：エコクリーンピアはりま）」は平成29年に建設を開始し、令和4年6月に稼働を開始し、最新の焼却技術の導入による公害防止対策の強化や、焼却熱を利用した発電を行うなど、環境負荷の低減と資源の有効利用を進める循環型社会の構築を地域全体で目指している。ごみ処理事業の広域化や施設建て替えについては本市にとって重要な課題であることから、今後目指すべき広域化の方向性や、実際の導入・運用方法について非常に有意義な視察となった。今後も引き続き検討し、本市の発展に尽力していく。



高砂市にて

全国温泉所在都市議会議長協議会の 役員会などを開催

熱海市議会議長が会長を務める、全国温泉所在都市議会議長協議会（加盟市：103市）の役員会が、令和7年11月5日に東京都の都市センターホテルで開催されました。会務報告などが行われた会議の終了後に、実行運動を行い、「温泉所在都市に対する税財源措置及び施策に関する要望書」を国土交通省、全国温泉振興議員連盟会員等に提出しました。



委員会に関する お知らせ

田中秀宝議員逝去により、空席となっていた議会運営委員会副委員長に金森和道議員が就任しました。

次回

熱海市議会 令和8年2月定例会

主な日程

2月19日(木)	10:00~	本会議（議案上程）
3月5日(木)	10:00~	本会議（質疑・一般質問）
3月6日(金)	10:00~	本会議（質疑・一般質問）
3月9日(月)	10:00~	広域行政推進特別委員会
	13:00~	公共施設整備等特別委員会
3月10日(火)	10:00~	観光建設公営企業委員会
3月11日(水)	10:00~	総務福祉教育委員会
3月13日(金)	10:00~	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

第77代 熱海市議会議長 田中 秀宝議員 逝去



熱海市議会議員として7期25年余の長きにわたり、市政発展のために尽力された田中秀宝議員が令和7年11月18日に御逝去されましたので謹んでご報告いたします。

心から御冥福をお祈り申し上げます。

次回の市議会だよりは、令和8年5月8日発行予定です。

< 熱海市議会 > 議長：赤尾 光一 副議長：杉山 恭平

< 議会だより編集委員会 > 委員長：橋本 一実 副委員長：杉山 恭平

委員：室伏 友三・新野 陽平・山田 景照